



「小さな親切運動」表彰 ～優しさの連鎖～

18日、東邦銀行が中心となって進めている「小さな親切運動」の表彰が本校で行われました。東邦銀行川俣支店の樋口支店長がわざわざお見えになって、受賞した子どもたちに賞状等を伝達してくださいました。親切を実行した子はもちろんですが、それを見つけた子も本当に素晴らしいと思います。今年度も児童会が中心となって、この運動に取り組み、子どもたち自身が気づいた親切を、自分たちの言葉で推薦・応募しました。以下が実行者・推薦者・実行内容です。実行内容は、大人から見たら本当に小さなことかも知れませんが、それが子どもにとっては、大きな優しさとなっているのです。子どもたちはよく見ているものです。子どもたちが気づき・実行した「親切」を大人・社会が認め、賞賛することで、さらに親切が行われていく「優しさの連鎖」が期待できるこの運動がこれからも広く展開されていくことを期待しています。



○実行者:2年 高橋結友さん 推薦者:2年佐藤妃奈乃さん

実行内容(清掃前、机・椅子の片付けを忘れてしまった友達の分まで片付けをしていた。)

○実行者:5年 佐藤柚実さん 推薦者:5年佐藤未南乃さん

実行内容(高いところに掲示物を貼ることに苦労している友達の姿を見て、掲示物を押さえたり、画鋏で留めたりしながら、一緒になって手伝っていた。)

○実行者:保護者 安部裕未さん 推薦者:6年安部翔愛さん

実行内容(曾祖母が、腰が悪く移動に苦労している。曾祖母に対して母は食事の時に手をさしのべて誘導したり、座るときにもそっと支えてあげている。)

人権教育出前授業

19日、人権擁護委員連合会の協力を得て、3・4年生に対して「人権教育」の授業を行いました。川俣町の4名の人権擁護委員の皆さんが福田小に来てくださいました。人権教育の基本は簡単に言えば、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」。



今回はインターネットの使い方を通して、人権を学びました。子どもたちはDVDを見たり、話しを聞いたりしながら、「人権」についてしっかりと考えていました。

保護者・地域の皆さんの声 お待ちしています。

..... 切り取り線

